

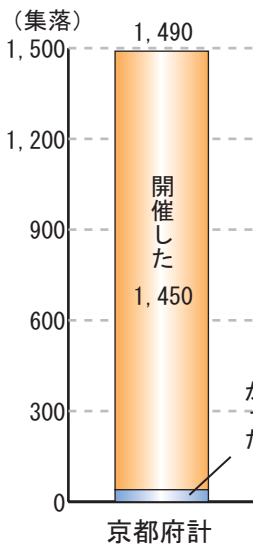
農村集落機能

寄り合いを開催した農業集落は97%

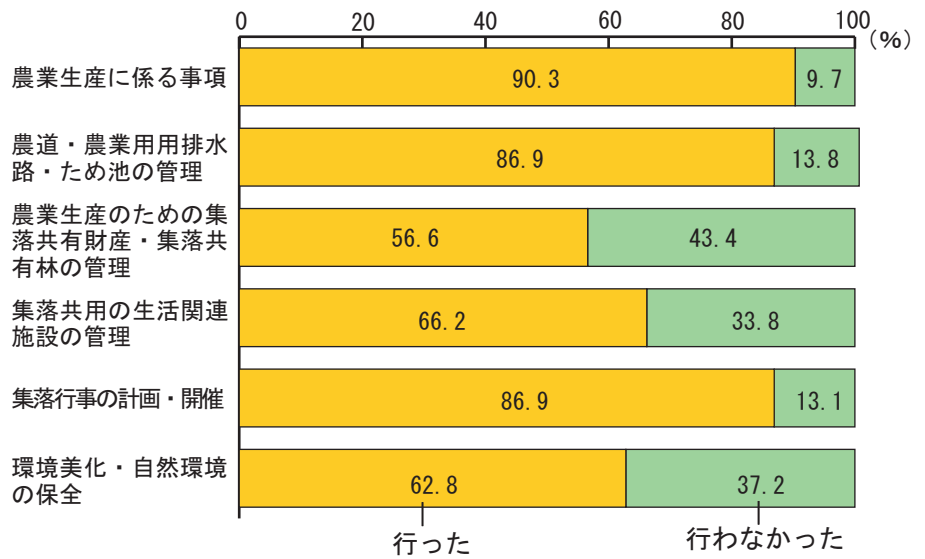
京都府の農業集落における過去1年間の寄り合いの開催状況についてみると、97%の農業集落で寄り合いを開催しています。

寄り合いの議題別開催状況では、「農業生産に係る事項」が90%の農業集落で開催され最も多くなっています。

● 寄り合いの開催の有無 ●



● 寄り合いの議題別開催状況集落割合 ●

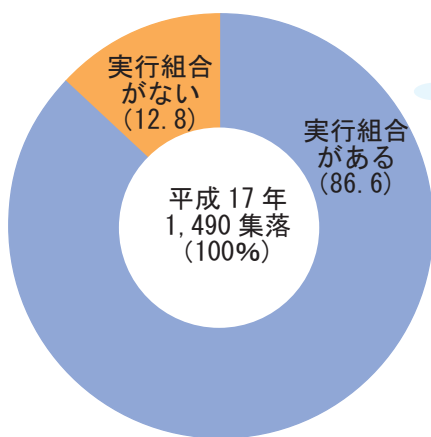


実行組合がある農業集落は87%

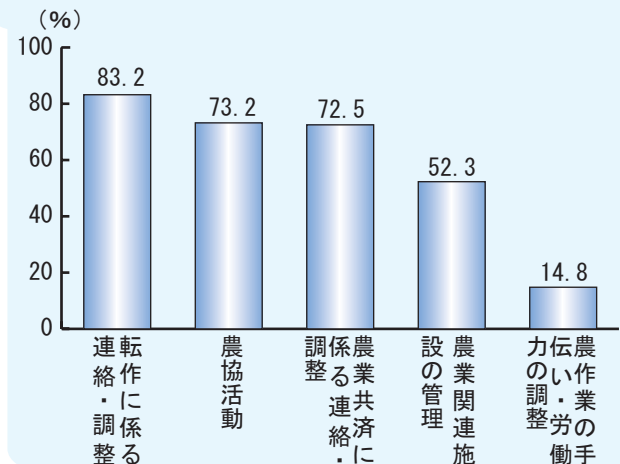
農業集落における農業生産活動の最も基本的な農家集団である実行組合についてみると、実行組合がある農業集落は87%となっています。

実行組合の活動内容を見ると、「転作に係る連絡・調整」が83%、「農協活動」、「農業共済に係る連絡・調整」が73%となっています。

● 実行組合の有無別農業集落数割合 ●



● 実行組合の活動内容別農業集落数割合 (複数回答) ●

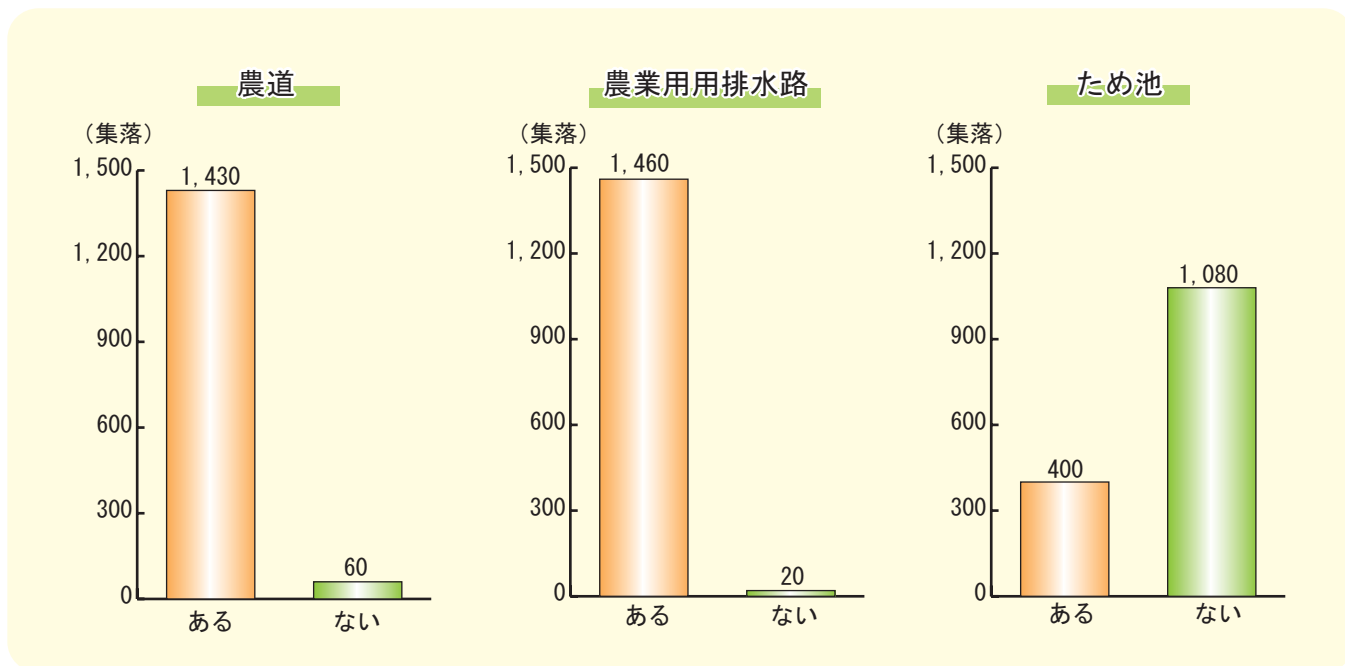


農業関連施設の管理主体は「当該農業集落のみ」が最も多い

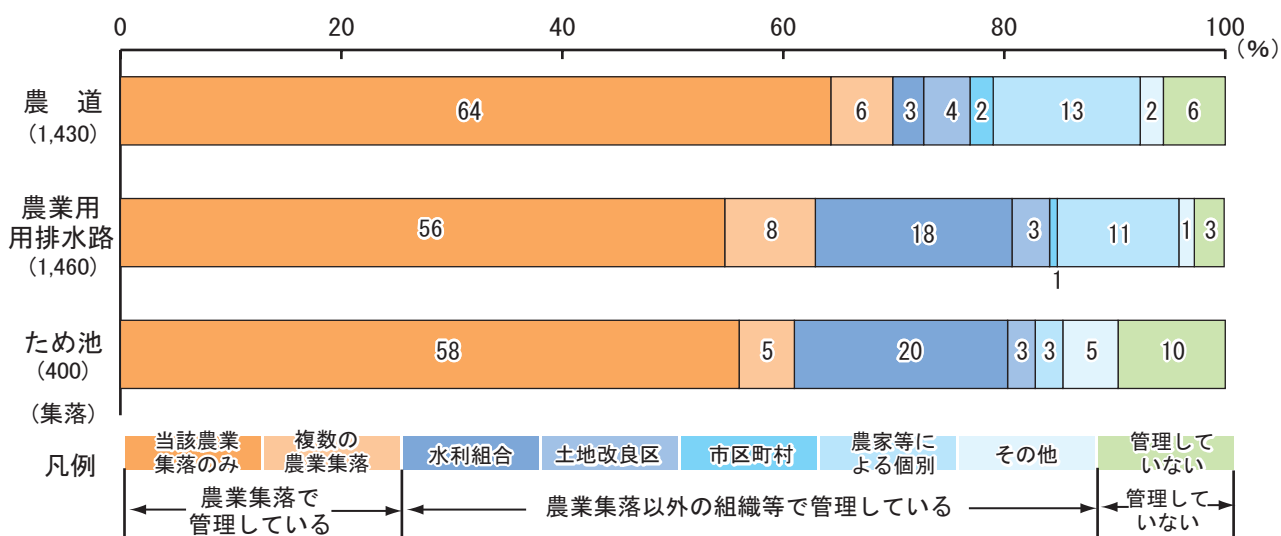
農業集落内の農業関連施設（農道、農業用排水路、ため池）についてみると、農道、農業用排水路は9割以上、ため池は約3割の集落にあります。

これらの管理主体については、農道では「当該農業集落のみ」が64%で最も多く、次いで「農家等による個別」が13%となっています。農業用排水路では「当該農業集落のみ」が56%と最も多く、次いで「水利組合」が18%となっています。ため池では「当該農業集落のみ」が58%と最も多く、次いで「水利組合」が20%となっています。

● 農業関連施設の有無別農業集落数 ●



● 農業関連施設の管理主体別農業集落数割合 ●



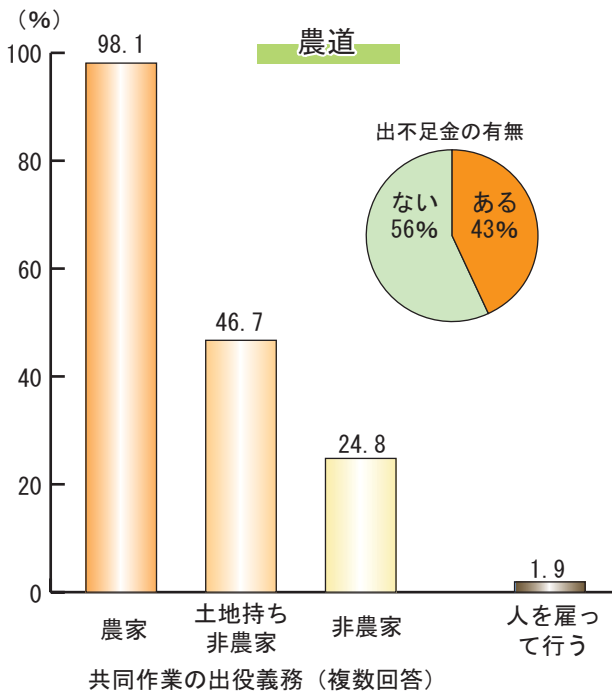
管理作業は大半が共同作業で実施

農業関連施設（農道・農業用排水路・ため池）を地域住民の任意組織が主体となって管理している場合についてみると、管理状況は、各施設とも大半が共同作業で行われています。農地を所有しない「非農家への出役義務」が課せられている農業集落は、農道が最も多く25%となっています。

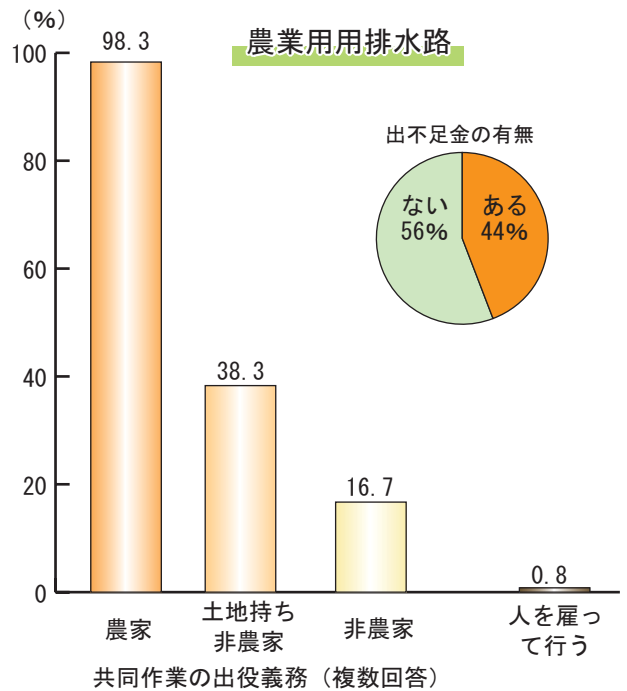
共同作業に不参加の場合に支払う「出不足金」の取り決めのある農業集落は、各施設とも約4割となっています。

施設の維持・管理に係る費用又は資材の「助成」を受けている農業集落は、農道が最も多く約4割となっています。

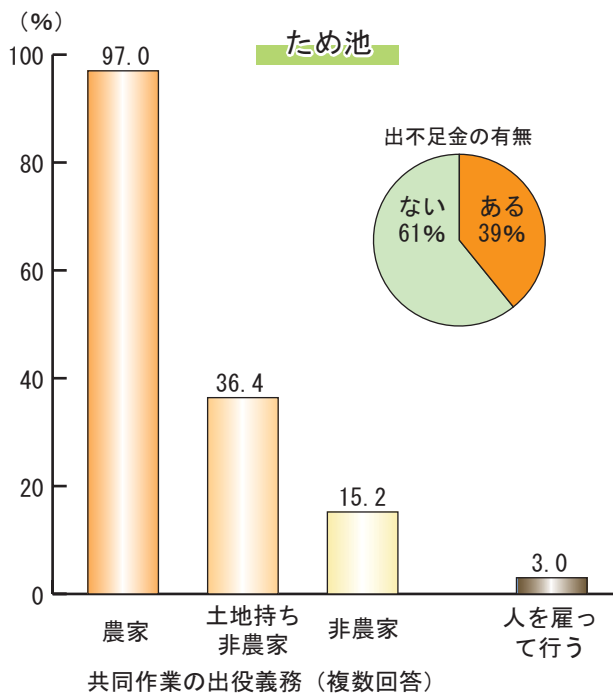
● 農道の管理実施形態別及び出不足金の有無の農業集落数割合 ●



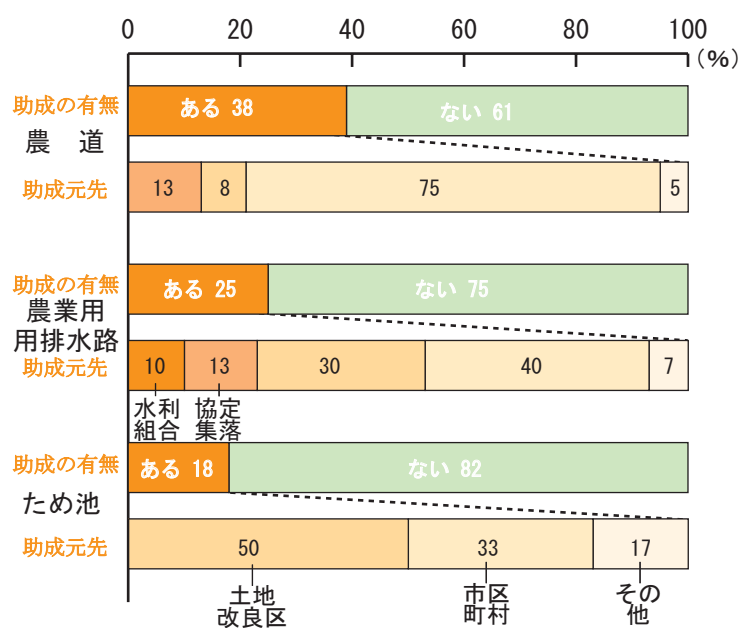
● 農業用排水路の管理実施形態別及び出不足金の有無の農業集落数割合 ●



● ため池の管理実施形態別及び出不足金の有無の農業集落数割合 ●



● 管理に対する助成の有無及び助成元先別の農業集落数割合 ●



1 回当たりの参加人数が減少した農業集落は約 2 割

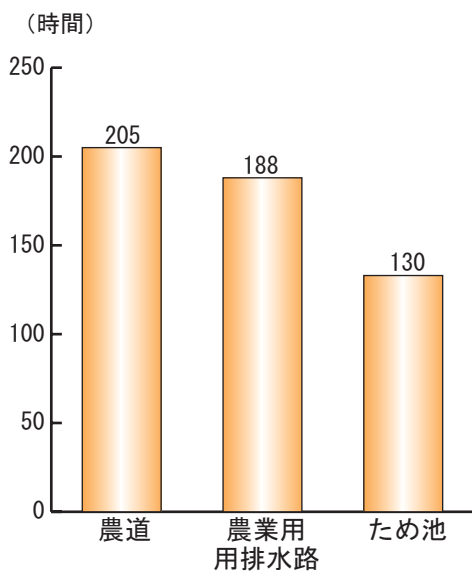
農業関連施設（農道・農業用排水路・ため池）を地域の農業者等の共同作業により管理している場合における過去 1 年間の 1 農業集落当たりの年間作業総量は、延べ時間で農道は 205 時間、農業用排水路は 188 時間、ため池は 130 時間となっています。

1 回当たりの参加人数は、農道は 24 人、農業用排水路は 22 人、ため池は 21 人となっています。

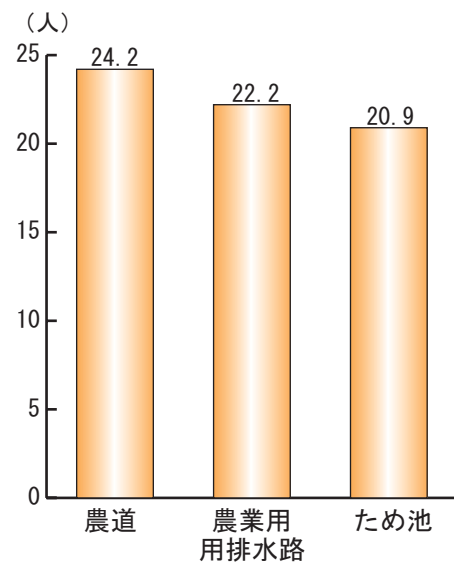
共同作業の状況を 5 年前と比べると、「過去 1 年間の作業回数」は、各施設とも「変わらない」が 9 割以上となっています。

一方、「1 回当たりの参加人数」は「減少」の農業集落が農業用排水路で 20%、農道が 17%、ため池が 16% となっています。

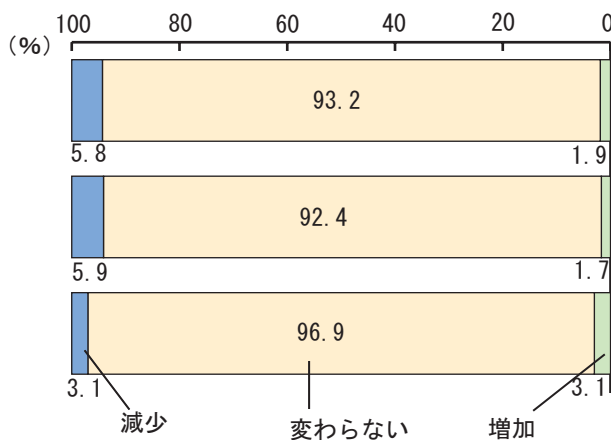
● 年間作業総量 (1 農業集落当たり) ●



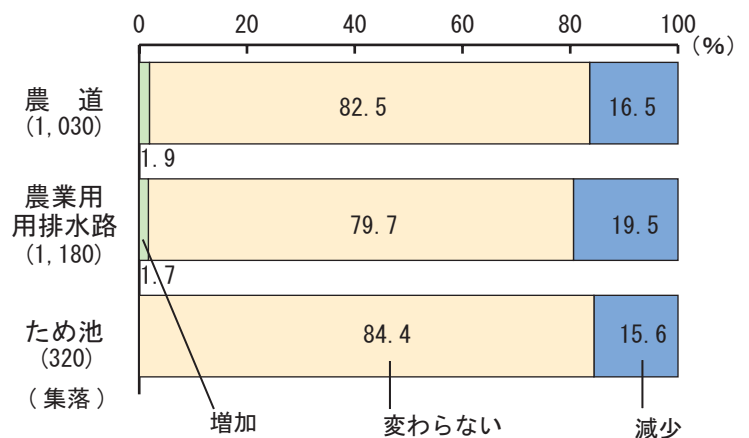
● 1 回当たりの参加人数 ●



● 過去 1 年間の作業回数増減別 農業集落数割合 (対 5 年前) ●



● 1 回当たりの参加人員増減別 農業集落数割合 (対 5 年前) ●



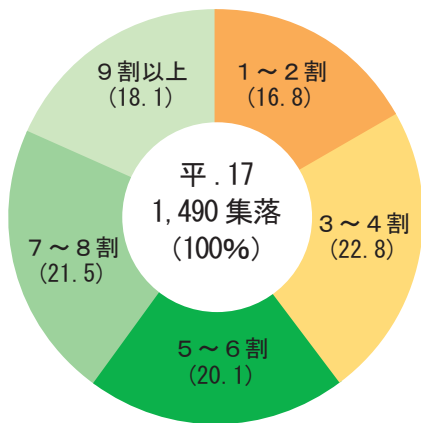
農村集落環境

混住化割合が5割以上の農業集落が約6割

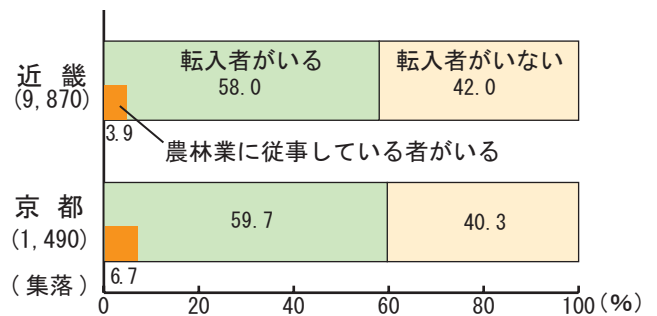
農業集落における混住化の割合（農業集落の総世帯に占める農家以外の世帯の割合）をみると、混住化割合が5割以上の農業集落が6割となっています。

また、おおむね過去5年間の転入者についてみると、転入してきた者がいる農業集落数は6割で、このうち現在農業林に従事している者がいる農業集落数は7%となっています。

● 混住化の農業集落数割合 ●



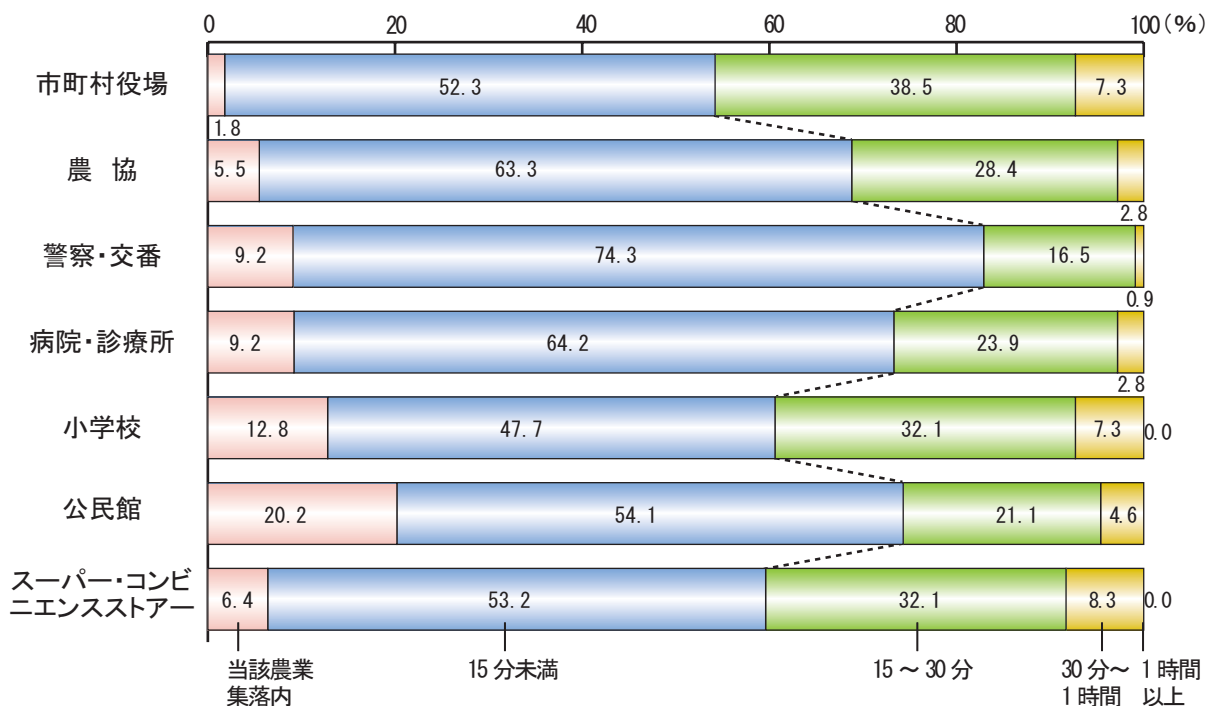
● 農業集落への転入者の状況別農業集落数割合 ●



生活関連施設までの所要時間15分未満の農業集落が5割以上

普段使用している交通手段による農業集落の中心地から生活関連施設までの所要時間をみると、15分未満（当該農業集落内を含む・以下同じ。）で行くことのできる農業集落の割合は、警察・交番が84%と最も多く、次いで公民館、病院・診療所の順となっており、主な生活関連施設は5割以上の農業集落で15分未満となっています。

● 生活関連施設までの所要時間（都市的地域除く） ●



2005年農林業センサス結果からみた

京都府の農林業

平成18年11月発行

編集・発行：近畿農政局統計部

京都市上京区西洞院通り下長者町下ル

電話 075-414-9620
